

ブルーツーリズム活動の取組促進

南薩地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

指宿地区は、鹿児島県の薩摩半島の最南端、鹿児島湾口に位置し、主に一本釣り漁業、刺網、定置網漁業、魚類養殖業が営まれており、また、かつお節の全国有数の産地として有名である。

観光都市指宿市の観光交流人口を活かし、地域活性化を図るため、指宿漁協の漁業者グループや山川水産加工業協同組合が新たに開始したブルーツーリズム事業の確立に向けた取組を支援した。なお、本取組は広域浜プラン実証調査事業を活用して実施した。

【普及の内容・特徴】

(1)漁業体験の実証調査事業（指宿漁協の漁業者グループへの取組支援）

ホテル等の観光施設と連携した一本釣り、刺網、カゴ漁業を観光商品として打ち出すブルーツーリズム事業を本格スタートさせるための事業態勢確立に向けた実証的な取組を実施した。今回、修学旅行生を想定した大口の団体客向けの漁業体験メニューを確立するため、指宿市内の小中学生を募集し、模擬的に漁業体験活動を実施した。その際、体験参加者からアンケート調査を実施し、今後の改善を図った。

(2)鯉節体験の実証調査事業（山川水産加工業協同組合への取組支援）

かつお節生産量の全国の約3割を占め、日本3大産地となっている指宿市のかつおの需要増加やブルーツーリズムの取組を活性化させるために、かつおや鯉節体験の魅力を伝えるパンフレットの作成や資材等を整備し、かつお節削りや茶節作り等のブルーツーリズム活動の実施態勢を確立するための実証的な取組を実施した。

パンフレットは3000部作成し、ブルーツーリズム活動に使用する他、漁協直売店、道の駅（2店舗）、ホテル等の観光施設等において消費者や観光客に広く配布した。

【成果・活用】

(1)実施の概要

実施主体	日時	対象者数・回数	活動内容
指宿漁協グループ	R4. 11. 8	指宿市の小・中学生36名	修学旅行生を想定した漁業体験メニューを確立するため、指宿市内の小中学生を対象に、模擬的な漁業体験活動を実施した。
山川水産加工業組合	R4. 10. 13 ～11. 17	修学旅行生計10回 272名の参加	修学旅行生等の学生を対象に鯉節加工場見学や鯉節削り体験、茶節作り体験などの実証的な取組を実施した

(2)得られた成果

今回、修学旅行生を想定した漁業体験メニューを確立する見込みが立った。

そのため、修学旅行生を年間1万人程受け入れている地元のNPO法人 指宿観光&体験の会と連携して、漁業体験を修学旅行生の体験メニューに入れてもらうことが決まり、現在、体験プログラムの準備活動を進めているところである。

今後とも、安心・安全で効果的な漁業体験メニューを確立し、体験メニューや水産物の魅力をより多くの人にPRし、漁業体験参加者数が増加することを目指す。



図1 指宿漁協ブルーリズム活動拠点（休憩施設+事務所）



図2 漁業体験配布チラシ



図3 修学旅行生の受入を想定した刺網漁業体験



図4 かつおの魅力伝えるパンフレット作成



図5 修学旅行生を対象としたかつお節工場見学